



まつもと じゅん

# 松本純

中区・磯子区・金沢区  
まちかど  
政治瓦版



令和5年11月1日号  
発行

**自民党**

神奈川1区支部  
発行責任者  
平木 茂

11月号  
2023年

No.248

松本純ホームページ▶<https://jun.or.jp/> ご意見箱▶[opinionbox@jun.or.jp](mailto:opinionbox@jun.or.jp)

## 元町の老舗『ポンパドウル』 事業承継税制で「会社が救われました」

### 松本純の功績「事業承継税制の改正」 来年3月で特例申請期間が終了へ

2017年11月14日、松本純が発起人代表となり『中小・小規模事業者の円滑な世代交代を後押しする議員連盟』を立ち上げ、会長に就任しました。日本の企業の多くが抱える問題である、事業の継承と後継者不足を何とかできないか。必死に取り組んだ結果、税制の大きな改正に結び付きました。

この事業承継税制を活用された横浜元町の老舗ベーカリー『ポンパドウル』の三藤達男会長にお話を伺いました。

#### 「従業員の雇用5年間、8割維持」の足枷が外れたこと

「もともとあった納税猶予の中でネックになっていたのは、従業員の雇用を5年間、8割維持しなければならないことでした。これは事業が成長していればいいですが、例えば今回のコロナのような事態になれば、業績が悪化して人員整理が必要になるなど、雇用の維持が難しくなるかもしれない。これでは納税猶予の要件が満たせない。改正によって、この足枷が外れたことは大きいですね。



▲『ポンパドウル』三藤達男会長



▲松本純の取り組みで「より使える制度に」

#### 会社の売却や廃業時に、その時の評価額で納税額が決められること

もうひとつ、もし会社の売却や廃業という事態が生じた時には、その時の評価額で納税額が決められるように変わったことも重要です。仮に5億で承継した会社を売る場合、その時の株価は本来ゼロになってしましますが、5億に対して税金を払わなければならなかった。それでは承継ができない。これが改正されたことで負担が大きく減ります。

#### 親族以外の第三者に会社を託せることも素晴らしい

そして跡継ぎがない、あるいは優秀な社員に譲りたい、という場合には、親族以外の第三者に譲ることも可能になった。企業にとって事業の継続が一番大切なことですから、それができる人に会社を託せることは素晴らしいことです。

今まで制度はあっても、様々な条件があって実際には使うことが難しかった。これが使える制度になりました。経済的な負担が軽減され、事業を安心して譲れる。日本ではほとんどの企業が中小企業ですから、中小企業が日本を支えているんです。そうした意味でも、本当に良くやってくれたなああと、感謝しています。ありがとうございました」。



事業承継税制の改正点及び松本純の政治実績

事業承継税制は改正後活用件数が大きく伸びています。しかし、あくまでもこれは時限処置であり、来年の3月31日で特例の申請期限が終了してしまいます。それでは多くの経営者が望まぬ廃業を迫られ、街の元気を失わせることとなります。松本純はこの制度の継続及び恒久化に向けてさらに力を尽くしてまいります。

【2023年10月】

松  
本  
純  
の  
活  
動  
記  
録

- 3日●石井甲一先生の瑞宝小綬章ご受章をお祝いする会
- 5日●令和5年度42回すし塚供養祭・直会/大鷲神社
- 7日●本牧大里町縁日
- 8日●富岡第2地区連合町内会秋季大運動会
- 11日●伊勢佐木防犯協会「安全・安心まちづくり旬間出陣式」
- 14日●森幼児園運動会  
●磯子区三師会懇親会

- 15日●手子神社秋季大祭神事
- 18日●花純会
- 21日●第49回金沢まつりいきいきフェスタ  
●湘南八景自治会秋祭り
- 22日●中区第6地区連合町内会「健民祭大運動会」  
●本牧神社本殿御遷座30年記念大祭  
●第36回中区第1北部地区大運動会



10/1 令和5年度伊勢山皇大神宮奉納演武●奉納演武実行委員会代表・日本居合道協会理事長の高田學道氏の挨拶に演武会最高顧問の松本純は祝辞で「青少年の健全育成、人間的成長に繋がる」居合道を称えました。



10/8 全国若手薬剤師フォーラム2023●「仲間を増やすために何をすべきか、あと1票獲得するために」をテーマに川田哲・日本薬剤師連盟幹事長の挨拶後、本田あきこ参議、澤勢瑞城・長崎市議が講演されました。



10/8 真照寺和光磯子納骨堂落慶レセプション●菅義偉元総理の祝辞、麻生太郎自民党副総裁の講演に続く祝賀会では真照寺水谷栄寛住職との長いお付き合いのある松本純から祝辞が述べられました。



10/10 中華民国建国112年雙十國慶祝賀式典・パレード●許耀康・華僑總會会長の挨拶に続き、羅鴻健・中華学園理事長より「アジア第一の共和国・中華民国は自由と民権を守っています」との挨拶がありました。



10/13 BioJapan2023/癸巳化成(株)企業セミナー●アジア最大級のパートナーリングイベントでセミナーを実施した癸巳化成(株)はバイオ医薬品等を受託開発製造する企業、加瀬会長は東京薬科大で松本の先輩です。



10/15 まつたけ会●年一回恒例の「まつたけを食べる会」。松本研市議、原聡祐県議の活動報告、松本純より日常活動の報告後、松浦短久代表の乾杯で、地元野毛地区の皆さんと楽しい意見交換会となりました。



10/17 徳永グループ創業100周年記念式典・祝賀会●徳永三郎代表取締役より、創業100年に際し「不動産総合商社として、幅広く地域へ貢献し、皆様にお役に立つ人財育成に励みます」との挨拶がなされました。



10/19 Bicerinイタリアトリノ本店創業260周年記念祝賀会●ピチェリンはイタリアトリノの本店が創業260年を迎え、長くお付き合いのある南里順子取締役会長、南里清久代表取締役社長と楽しい再会が果たせました。

永田町日記

## 国益を守り、国の存在感を強め、国民に支持される外交を 上川陽子外務大臣に聞く

上川陽子外務大臣とは2004年に郵政に関する視察で一緒にドイツを訪問するなど20年近い親交があります。外務大臣就任から一月半が経ち感じること、これからの展望などを大臣に伺いました。

「今考えることは、まず日本の国益をしっかりと守る。次に日本の存在を高めていく。そして国民の皆さんにご理解いただき支持される外交を目指す。この三点を私の方針として臨んでいます」。

振り返ってみると、就任して5日目にG7の議長国としてニューヨークの国連総会ハイレベルウィークに際する様々な会合や行事に参加し、数々の多国間の協議や一対一の会談を行って、ある意味では何か月分かの大きな仕事を行ったところからスタートした、こういう思いをいたしております。



世界は今、非常に混んとしている状況です。特に最近のパレスチナをめぐる情勢等を見ても、その地域の大きな紛争が他の地域に波及していく可能性は否定できない。安全保障環境はある地域に限定されたものではなく、全体の中で影響が及ぼすものだというををよくよく考えて、日本として行動をしていく必要があります。

外交は外交、内政は内政という時代ではもうないでしょう。例えば、外交の舞台の中でも企業や市民団体の参加をいただくなど、大きな意味でチームとしてことに当たらなければいけないと実感しています。また、日本文化や芸術は私たちの精神的拠り所であり持ち味であると同時に、海外でも非常に関心が高い。そしてその力は大きな外交力にもなっていく。総合的な安全保障の枠組みの中で外交をしっかりと位置付け、経済や芸術など他の分野としっかりと連動してやっていくことが必要だと強く感じています。

